





但馬ちりめんに手形を押す子供たち

豊岡

新市誕生祭。みんなで感DO!」

6月5日、豊岡市総合体育館前広場で、

但馬ちりめんに手形を押し、 DO!」(豊岡青年会議所主催) が行われまし 気な市にしようと新市誕生祭「みんなで感 市の誕生を祝うとともに災害を吹き飛ばす元 や災害を吹き飛ばすメッセージを書くハンド 願い事などを書いたエコ紙風船を空高く飛ば 後は、 スタンプ、新市の地図を組み合わせるジャン ホパズル遊びなどが行われました。 による歌やパフォーマンスなどが行われ、 テージでは、ゴスペルライブや市民グループ しました。 出石名物の皿そばなどが出店されたほか、 みんなで「翼をください」を合唱し、 新市誕生の記念 また、



鼻かけ地蔵尊祭

なり、 もらえる地蔵さんとして信仰されています。 地蔵さんの鼻の穴からは、 穴をのみで削り大きくしました。 それからは たくさんの米が出ると思い、 じいさんが、鼻の穴を大きくすれば、もっと と鼻から米を出しましたが、一人の欲張りお の元にお祭りされた地蔵さんは、そのお礼に 楽々浦湾の底から引き上げられ、 蔵は、テレビ「日本昔話」でも紹介されました。 蔵尊祭」が開催されました。昭和52年から始 行われ、今年が29回目となります。 まったこの祭りは、 6月5日、城崎町楽々浦地区で、「鼻かけ地 今は欲張らずに一つだけ願いを聞いて 毎年6月の第1日曜日に 一粒の米も出なく 地蔵さんの鼻の 大タモの木 鼻かけ地



大護摩を焚いて供養する参拝者

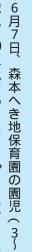
こになりながら奮闘する園児たちの歓声が響 「先生、とれたぁ」、「足が生えとる」と泥



おたまじゃくし取り

早く大きくなってね

!!



出かけました。 5歳児、20人)が、「おたまじゃくし取り」に 生と一緒に保育園近くの田んぼへ。 帽子に長靴、手にはバケツと網を持ち、 先

じゃくしが成長してカエルになり、 帰っていくのを観察し、見守ります。 イの中で育てられます。 おたまじゃくしは保育園に持ち帰り、 園児たちは、 自然に おたま タラ



おたまじゃくし取りをする園児

日高

但馬ドームフェスティバル

ムフェスティバル」が5月29日に開催されま 北近畿最大のフリーマーケット「但馬ドー

進を図るため平成11年から毎年実施されてい ら、品定めをしていました。 F内いっぱいに並び、家族や友達と一緒に訪 局の入り込みとなりました。 よすが、 、 れた人たちは、出店者との会話を楽しみなが)た。 このイベントは、但馬ドームの利用促 また、特設ステージではパフォーマンス大 雑貨や衣類など約130もの店がグラウン 今回は約3万6千人が訪れ、過去最

日ごろの練習の成果を元気よく発表していま 云が実施され、出演者はダンスやバンドなど



出石

さわやかな香り漂う

片間ふれあい農園開園

ト苗が先着100人にプレゼントされます。 リーのもぎ取りを楽しく体験していました。 香りが漂うラベンダー の摘み取りやブルーベ 本の小果樹などが植えられています。 000株のラベンダー、約700本のブルー 目の開園を迎えました。(入園料200円) 「 ラベンダー まつり」、7月3日の閉園日に 園内では、 6月26日には、もちつき体験などがある この農園は、約1・5ヘクタールに約3、 6月5日、片間地区のふれあい農園が7年 「復興感謝祭」として、ラベンダーポッ 約100本のユスラウメや約100 訪れた人が薄紫色のさわやかな



たち

どが訪れ、青、

赤、白と約1千株の色鮮やか

さい祭りが行われました。

6月18日、19日の2日間、

奥赤地区であじ

今年で4年目となる祭りには、家族連れな



奥赤あじさい祭り

ら励みの言葉をいただきました。あじさいを いは7月上旬まで見ごろということです。 けて頑張ります」と話していました。 あじさ 通してお礼ができればと思います。 復興に向 23号のつめあとを見ていただき、多くの方か なあじさいを眺めて楽しんでいました。 行われ、多くの人で賑わっていました。 また、苗木の販売や新茶などの振る舞いが 祭り実行委員会代表の小西護さんは、「 台風



鮮やかなあじさいを目の前に楽しむ親子連れ (写真右 小西護さん)